

明中瓦版

令和8年9月号

小中一貫校 彩和学園
富田林市立明治池中学校
校長 堤 周作



思いあふれる熱い(暑い)夏!

尋常でない蒸し暑さ、汗を流し技術や体力を高めようと努力する運動部、これまでで最高の賞を目標に練習する吹奏楽部、体育大会スローガンの大横断幕を力合わせて作成する文化部(→)、夏休みも明中は活気にあふれていました。今年も3年生引退前に「お疲れ様」の気持ちを込め、全ての部の試合や練習を応援に行きました。機敏な動きの子、強豪相手に諦めず精悍に立ち向かう子、一生懸命に応援やサポートしている子、炎天下で応援下さっている保護者様等、校内では知らない明中が見られました。部活に加入していない生徒も、校外での活動や習い事、勉強等、それぞれ努力していたことでしょう。猛暑を乗り越えた全生徒に、「お疲れ様、みんなよくやった!」と労ってあげたいです。

バレー部の最後、市優勝で有終の美、保護者さん手作りの応援垂れ幕(→)



7/25(土) ふれあい夏祭り、14:45 の祭り開始に毎年、吹奏楽部がファンファーレを行っていますが、今年は加えて4曲を演奏(→)。大勢の地域の方や子どもたちに見守られ、大拍手。これらの努力の成果か、



7/31 府南地区コンクールで約10年振りの金賞を獲得、おめでとう!

今年は生徒会も、『『さいワン』の着ぐるみを作ろう!』活動の一環として、すこやかネット会長の全面協力のもと、「カプセルトイ」と「コイン落とし」を出店しました(→)。これがまた大繁盛で、長い列が絶えず。準備していた商品を完売! 着ぐるみ作成の夢に一步、近づいたかな?



8/6(木)平和登校日、前半は3年生の沖縄修学旅行と平和学習の集大成をスライドで報告、3年生全生徒が舞台上で平和宣言、島唄を披露(↓)。今年はグループに分かれて3年生が直接1・2年生に伝承の機会も設定。後半は戦時中の体験の聞き取りを通して、戦前の温かくて豊かな暮らし、戦中の父の出征時の様子や戦死・疎開先での様子・空襲の恐ろしさ、戦後の母と子3人で生活する困難さを、当時の写真や父母がやり取りしていた手紙を交えてお話をいただきました。

「戦争は大事な人の命をなんとも思わなくなっていく、一つしかない大事な命を自分のために、世界の人たちと平和に繋がるために、使ってほしい」。生徒たちには、実際の戦争体験者の方からお話を聞く貴重な経験を次の世代に繋いでほしいと願います。この様子は夕方に、NHK「ほっと関西」で放映されました。

